

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日		年 月 日	
フリースマイル横浜港南Ⅲ					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制 整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		/利用者の人数が定員マックスの日には、活動場所を相談室・プレイルーム・和室の3ヶ所に分散させたり、自由時間に公園に連れていく または何人かの利用者をイベント日昼食のお買い物等に誘うなどして、狭いスペースに多くの子どもが集まらないようにしている点 /廊下や階段など、定員が多い時は部屋の中だけでなく、ルールを設けながら家のなかの空間を利用して遊んでいる点 /年齢や特性に考慮している点 /子どもや職員の数によって、2階を上手く使えるようにしている。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	2	/子供の遊ぶ場所、勉強をする場所は、その時々 の職員の数や配置によって、職員同士で声を掛け合い、変更していく点 /移動する際はお互いに声を掛けている点。 /子どもの特性を考慮し対応するため職員の数 が足りないが、子どもの相性などを考え同じ遊 びをするなど /子どもによっては2人以上でも1人で見たり、 マンツーマンだったり、様子に応じて回るよ うにしている。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	2	/それぞれのおもちゃ箱に何のおもちゃが入っ ているかを表す写真を貼り付け、視覚化する点 /段差が多く、バリアフリー化は難しい。環境 の構造化は、少しずつ行うことができている が、まだまだ改善の余地があると思われる。 /子ども中でこの部屋は勉強する部屋・遊ぶ部 屋など分けることができている点 /わかりやすい構造化に加えて、情報伝達や伝え たいことをポスターにして掲示している。子 どもたちもそれを見ることがによって自分で気 付ける空間になっていると思う。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	1	/テレビ裏にコンセントを取納する箱を設置し ている点 /子どもたちにも必要に応じて床や机の掃除 や、机の移動などの環境整備などを行って もらい、美化意識を保っている。 /子どもが過ごすことができる環境はあるが、 細かな物の整理整頓・ゴミの処理は出来てい ない	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11		/学習室を静養室と名称を変更し、ベッドを配 置している点 /気持ちが盛り上がりってしまった時の、クール ダウンのための空間が確保されている。 /クールダウンしたい子どもがいた場合は柔軟 に対応し、周りが干渉しない空間をつくる /勝手に、一人で使うのは危険もあるので許可 していないが、職員の数や理由によっては 使用している。	
	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	2	/事業所内でミーティングを行い、児童共有を 行なっていく中で、気づいた環境面での改善点 または改善案を話し合う場が設けられてい る点 /ホワイトボードを使って、朝礼時に本日の業 務を共有している。 /業務について意見交流を普段の会話からして いる /ミーティングなどで決めたことは1度やって みて、再度どうだったか話し合っ て決めている。まずはやってみる。	

業務改善	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		/月に一度は必ずミーティングを行ない、保護者との面談内容のフィードバックや、今後の事業所内での取り組みについての話し合いを行なっている。 /児童共有等で共有される	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		/毎朝、朝礼を終えたあと30分ほど児童共有を行ない、利用者の気になった点(良い点・支援が必要な点など)を話し合っている点。また、話し合ったことを日報に記入し、その日いない職員やアルバイトの方への共有を行なっている点 /月1回に職員ミーティングを設けており、全体に共有する機会がある。 /普段の会話から交流する機会がある	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	2	教育に携わる方の意見を聞き、よりよく業務を行えるようにしている	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11		/月1回、全員が参加できるよう、様々な内容の研修がある。 /社員やアルバイト関係なく研修が行われる場合に声をかけている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		どのような方針でいくか共有されている	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		/全ての職員が個別支援計画の内容を確認して、今後の支援の目標について共通認識を図る点 /日々の子どものケア記録を、モニタリング作成に活かしている。 /実際にあったことを元に子どもに接している	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11		/職員ミーティングにて、子どもたちの支援ポイントについて共有し、よりよい関わり方について、日々試行錯誤しながら検討している。 /事前の情報共有など /意見交換を日常の会話で行っている /担当や支援会議を設けている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		その子どもの特徴を元に支援している	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	2	その日あったことを共有している	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		活動の狙いなど共有されている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		/複数の職員で話し合い、各子どもの特性に応じて活動内容を変えらる点 または、活動内容は変えずとも活動方法(どのような形でその子供に活動に参加してもらうか)はその時々で子どもと話し合い、臨機応変に変えていく点 /朝、必ず児童ミーティングの時間を設け、当日の活動の進め方について確認を行っている。 /円滑に進む様、事前に情報や進行など共有され連携している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		/活動担当者を複数名にして、その中で活動内容のすり合わせができるようにしている点 または、活動の進行を誰が行うかはローテーションで決めている点 /週ごとに活動プログラムを変えたり、メンバーをチェンジしたり、内容に新たな要素をプラスしたりなど、工夫を行っている。 /週や曜日に合わせ活動内容を変えている	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11		その日の状態や気持ちに応じて対応している	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		/支援に関して悩みがある点は、他の職員にこまめに相談している。 また相談する際は、現在の自分の対応方法を伝え、自分以外の視点も交えて改善策を考えるようにしている。 /その活動の目的や大切なことを共有している /日々、児童共有や流れを確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1	/毎日終礼を行ない、その日の児童の様子について共有を行なっている。 /業務終了の前に、その日の出来事や気付きについて共有し、日報に記入している。 /児童共有にて次に繋がるように務めている /終礼をしているが、hugや送迎でバタバタしている時はできていないこともある？	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		/ヒヤリ・ハット等、身近なことでも共有できるようになっている /毎日、一人一人に対してケア記録をつけている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	2	/子どもごとに複数の担当者に分かれ、毎月複数回のモニタリングを行っている点。 /定期ミーティング内で、事業所内の環境改善点について話し合っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	8	1		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11		/行動選択に悩む子供に対し、YES NOで答えられる質問ではなく、いくつかの選択肢を出して質問するようにしている。 /選択する練習など日常会話に取り入れている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9			資格を持った者が参加している
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9			下校時間やその日あったことなど共有されている
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11			変更があった場合共有されている
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	5		分からない
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	4		分からない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	4		分からない
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	8		分からない
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	6		積極的ではないが、参加はある。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	1		保護者面談や、他の放課後等デイサービスを利用している場合はそのデイサービスとの面談を行い、その内容は、全ての職員に共有されている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5		分からない
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10			/面談をコンスタントに行なっている。 /hugにてその都度確認できるようになっている
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11		/時に専門職の職員が面談に入り、専門的な助言を行なっている点 /進学などについて面談をしている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	4	映画鑑賞会など、保護者や、他事業所の子供が関わるイベントを設けている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	1	情報共有されている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11		/利用者やその保護者の個人情報の入ったパソコンは子どもに使わせず、職員室に置き、子供が印刷等で使うパソコンは別で用意する点 /個人情報が記載されているものはシュレッダーにかけるなど対応している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11		その日の様子など保護者がみれるようにしている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	5		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	1	/期間を決めて、訓練を行なっている。 /研修をしている /定期的に訓練週間を設けている /家族への周知ができていない。他はできている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		/職員間で共有を行なっている。 /hug等でみれるようにしている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	2	アレルギーがある場合は、保護者から詳しく聞いている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		安全計画の作成に全ての職員が関わる。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11		/こまめにヒヤリハット記入を行う /日々の細かなヒヤリハットを記録しやすいよう、ヒヤリハット記録用紙の簡易版を作成し、気づいたことを記入している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		/事例をもとに、全体研修を行っている点 /職員と子どもが2人きりにならず、部屋を閉め切らないように声を掛け合っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	1	分からない		